

「投資信託の基本と留意点」 Vol.2



前回に引き続き、投資信託の基本と留意点を最新の動向を含めてご紹介します。

1. 投資信託のリスクとリスク軽減法

2008年の今年は十二支の最初の干支、「子」。投資の世界では「子年は繁盛の年」といわれています。また、年号の8（八）は末広がりでおめでたさも格別。期待をかけたい気持ちをよそに新年早々、株価は低迷。

世界同時株安・円高の影響を受け、1月22日にはNYダウが一時460ドル下落、日経平均株価が終値で752円安と急落しました。米国のサブプライムローン（信用度の低い低所得者向けの住宅融資）問題の深刻化、米景気後退懸念などが主な理由のようです。1月23日付けのロイターでは、投信情報サービス会社のリッパーによる国内籍の投資信託の基準価額は昨年末から22日までに平均12%下落と報道。中国株投信は平均21%、インド株投信は同19%下落と見つかったようです。

また、外国（国際型）債券投信もドル円相場が昨年末の111円71銭から22日には106円1銭に（一時は105円62銭と昨年末比で6円強の円高に）なったことから運用成績が低迷したようです。

さて、投資信託は株式や債券などで運用されていますので、株式・債券市場の影響や国際型投資信託では為替の影響を受けます。投資信託のリスクとその軽減法をまとめると<図表1>のようになります。

<図表1>

主なリスク	主なリスク要因と軽減法
金利変動 リスク	公社債投資信託にあるリスク。預貯金の金利上昇は債券価格の上昇に、金利が下がれば債券価格は上がる。リスクを減らすコツは、購入時期・投資対象の分散投資など。
価格変動 リスク	株式投資信託にあるリスク。株式は経済情勢や企業業績の悪化、大量発行による供給過剰で価格下落も。リスクを減らすコツは購入時期・投資対象の分散と長期運用など。
信用リスク (デフォルト リスク)	株式投資信託、公社債投資信託にあるリスク。債券では発行体の倒産などで債務不履行になり、利息や償還金が払われない場合も。リスクを減らすコツは、AAA~AAなどの高格付け債券組み入れの投信や株式では安定した企業を組み入れた投信など。
為替リスク	国際型の株式投資信託・公社債投資信託にあるリスク。海外に投資する株式や債券では、株価や債券価格が変動しない場合、円高になれば円換算した資産価値は下がる。リスクを減らすコツは為替ヘッジ付き（円安時は利益獲得の制限あり）の選択など。

よく分散投資の手法として、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券の4資産に4分の1ずつ投資する方法が、投資信託の本や金融機関等のパンフレット等で紹介されています。1997年から2006年の過去10年間の収益（各年のリターンの単純平均）見ると、4資産を組み合わせた場合は年8.4%となっています。将来の投資収益等を示唆したり保証するものではありませんが、投資信託の分散を考える上でも参考となりましょう。

2. 基準価額が下落する金額の目安は？

投資信託は1つのファンドで数百銘柄など（ファンドによって異なる）の株式や債券などに分散投資をするため、株式のように紙きれ同然やゼロになることはありません。とはいえ、投資信託の値段である基準価額は設定当初の1万円が、株式型の場合は2分の1くらいの5,000円台になるのは案外、簡単？かもしれません。

金融機関等によってはお客様に対して、投資信託のリスクを金額ベースで多くても3割減（10分の3）という目安を提示される機関もあるようですが、筆者は極端かもしれませんが、「投資信託は下手をすれば、金額ベースで4分の1くらいになる可能性がありますよ」とお伝えしています。

「いくら何でも、そこまでは…」と思われるかもしれませんが、「1兆円ファンド」として日本最大規模の株式投資信託であると話題を集めた某ファンドは、一時期、基準価額が6割減以上の3,800円台まで下落しました。

また、日経平均株価は2000年4月には20,833円ありましたが、2003年4月にはバブル後の最安値7,607円と約3年間で3分の1強に。それに連動する日経225のインデックスファンドなら基準価額の下落は推して知るべしです。日経平均株価・終値が過去最高だったのは1989年12月末(29日)の38,915円。バブル後の最安値7,607円で比較すると5分の1以下となっています（ここまで長期保有される方も少ないとは思いますが…）。

したがって、投資信託を購入するのなら5年以上の換金する必要のない余裕資金で行うのがベターです。そしてリスクのある投資型金融商品ですから20~30年の長期運用の場合は別として、「果報は寝て待たずに」、「タイミングを見ながら」、各自のライフプランなどに合わせて利益を確定していくほうがよいでしょう。

【著者プロフィール】

加藤 文子（かとう あやこ）

クリエイティブハウス・アテール&品川FPガーデン代表。

CFP®、1級ファイナンシャルプランニング技能士。DCアドバイザー。

コピーライターとして都市銀行の広告企画・制作を担当していたことからFP資格を取得。

「知らないで生活者がソンをしないように」をモットーに、金融・保険・ライフ&リタイアメントプランの分野を中心に、講演やセミナー講師、執筆、個人へのアドバイスなどを行っている。

◇メールマガジンアンケートにご協力を

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

◇メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP実務研究会事務局では、FP実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。

執筆を希望される方は、税理士FP実務研究会事務局<株>日税ビジネスサービス 総合企画部までご連絡ください。

TEL 03-3340-4488